

『「健康しが」 ツーリズムビジョン 2022』改定の1年前倒しについて

1 概要

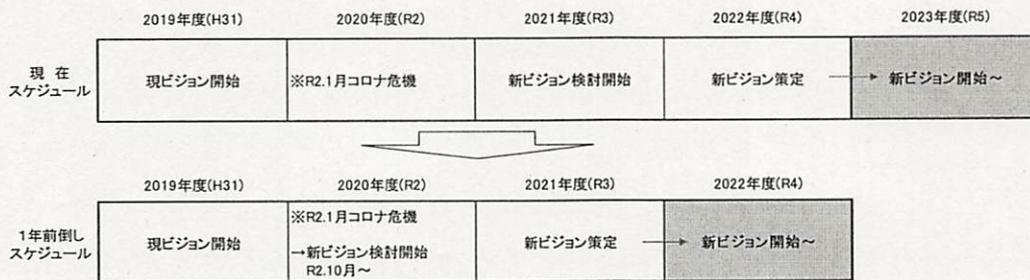
- ・『「健康しが」 ツーリズムビジョン 2022』(以下、「現ビジョン」という。)に基づき、毎年度アクションプランを策定し、観光入込客数6,000万人を達成することを目標に観光施策を積極的に展開してきた。しかしながら、今回のコロナ禍により、観光を取り巻く環境は著しく変化している。
- ・コロナ禍を踏まえ、新しい時代に合わせた、より安全で安心な滋賀らしい観光振興を実施するため令和4年度(2022年度)までが計画期間である現ビジョンの改定を1年前倒しして新たなビジョン(以下、「新ビジョン」という。)を策定する。

2 ビジョンの性格

- ・「滋賀県基本構想」の理念を実現するための個別計画であり、本県が取り組むべき観光振興の総合的な指針。
- ・今後、滋賀県における観光振興に係る基本的な考え方を、観光事業者をはじめ各関係者と共有し、相互に連携しながら総合的かつ効果的に推進するため、本県における観光振興に向けた取組を掲げたもの。

3 改定の基本的考え方

- ・現ビジョン(平成31年4月策定、計画期間:2019年(令和元年度)~2022年度(令和4年度))を継承しつつ、コロナ禍による経済・社会情勢の変化や課題への取組を反映させ、改定を1年前倒しして新ビジョンを策定する。



4 新ビジョンの期間(予定)

- ・令和4年から令和7年度(4年間) ※コロナ禍を踏まえ新ビジョンの計画期間は検討段階で決定する。

5 検討の進め方

- ・観光関連事業者等へのヒアリング、アンケート調査および市町・関係団体等との意見交換により様々な立場の意見を聴取し、滋賀県観光事業審議会において審議する。

6 検討スケジュール

- ・令和2、3年度の2カ年で検討することとし、その間に観光事業審議会を4回程度開催する。
- ・今年度中に「改定骨子(案)」をまとめ、来年度に新ビジョンを策定する。

<想定スケジュール>

※適宜、検討状況等を常任委員会に報告

